

## 1

## 花王株式会社

## 各社の考え方

## □算定を行う背景・目的

- 全社のライフサイクルアセスメント(LCA)を実施し、ホットスポットがScope3であることが判明。その結果を基に、2009年に「花王環境宣言」を発表し、ライフサイクルベースの全社CO2排出量、および製品使用段階の水使用量を削減する目標を公表。
- 上記目標の進捗状況を把握し、削減活動を推進するため、個別製品並びに全社のライフサイクルCO2排出量、使用段階の水使用量を算定している。

## □算定結果の活用方法

- 製品開発において、LCAを活用している。
- “いっしょにeco”マーク(製品環境ラベル)の表示基準の要件にライフサイクルCO2排出量の低減を定めている。
- 顧客からの個別商品の環境負荷の問い合わせ時に利用。
- サステナビリティレポートで上記目標進捗状況を社会に報告、花王エコラボミュージアム、各種環境展示会での活動紹介、および各種アンケートへの回答対応。

## □算定のメリット

- バリューチェーンに渡り環境負荷を「見える化」することで、適切な地球環境保全につなげることができる。ホットスポットを顕在化することにより、有効な対策が可能。
- リスクの回避、事業機会の創出にもつながる。
- 解析の結果、CO2排出量は使用段階が大きいことが判明。使用段階の環境負荷を低減できる製品を開発・提供している。このような、お客さまと“いっしょにeco”に加え、ビジネスパートナーや社会と“いっしょにeco”を掲げ、ライフサイクル視点の取組みの展開につなげている。

## □社内の算定体制

- 個別製品及び全社のLCIデータを計算する社内システムにより算定(日本花王)。約1万の製品データがデータベース化されており、社内各種データベースとのリンクにより登録作業の効率化を図っている。日本以外の主要製品もデータを保有。
- 製品開発担当者は上記システムの保有データを利用して開発製品のLCAを実施し、製品開発活動に活用している。

# 2

# 花王株式会社

## 各社の考え方

□ サプライチェーン  
排出量の削減に  
向けて

- 原材料調達段階については、製品のコンパクト化、容器の軽量化、詰替え化による材料削減等に対応。“いっしょにeco”の一環で、サプライヤーとの協働取組みの重要性も認識。
- 製造段階については、工場・事業場の省エネ等各種削減活動を実施。
- 使用段階については、使用段階の負荷を低減する製品を開発・提供することで対応。例えば1回すすぎが可能な衣料用洗剤の提供。
- 廃棄段階については、容器の軽量化、詰替え化による材料削減等に加え、バイオポリエチレン導入等を進めている。

□ サプライチェーン  
排出量算定の課  
題

- 社会全体の課題として、誰もが容易にLCAを実施できるよう、計算ルールやデータベースの整備、計算ツールの普及等が挙げられる。



□ その他(任意)

- サプライヤーに対し、主な原材料のLCIデータの提供をお願いし、LCIデータの整備・精緻化に努めている。

## 3

## 花王株式会社

カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 原材料投入量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サプライヤー調査結果、外部データベース、文献値、産連表の原単位からの換算値</li> </ul>
カテゴリ2「資本財」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 投資額</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量算定のための排出原単位データベース」(環境省、経済産業省)</li> </ul>
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 購入量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量算定のための排出原単位データベース」(環境省、経済産業省)</li> </ul>
カテゴリ4「輸送、配送(上流)」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 原材料投入量</li> <li>● 製品量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 省エネ法・温対法の算定・報告・公表制度の電気・燃料に対する排出係数、外部データベース等</li> </ul>
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 排出重量</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量算定のための排出原単位データベース」(環境省、経済産業省)</li> </ul>
カテゴリ6「出張」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社員数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量算定のための排出原単位データベース」(環境省、経済産業省)</li> </ul>

## 4

## 花王株式会社

カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ7「雇用者の通勤」	● 社員数	● 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量算定のための排出原単位データベース」(環境省、経済産業省)
カテゴリ8「リース資産(上流)」	● スコア <sup>1,2</sup> に含む	●
カテゴリ9「輸送、配送(下流)」	● 輸送製品量	● 花王算定
カテゴリ10「販売した製品の加工」	● 販売製品量	● 花王算定
カテゴリ11「販売した製品の使用」	● 独自シナリオ設定	● 省エネ法・温対法の算定・報告・公表制度の電気・燃料に対する排出係数、外部データベース等
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	● 独自シナリオ設定	● 外部データベース、文献値
カテゴリ13「リース資産(下流)」	● 該当活動なし	●
カテゴリ14「フランチャイズ」	● 該当活動なし	●
カテゴリ15「投資」	● 投資金額(持ち株分を対象)	● 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量算定のための排出原単位データベース」(環境省、経済産業省)
「その他」	●	●

# 5

# 花王株式会社

## 算定結果

● サプライチェーン排出量

